

# 官報號外

明治三十二年二月七日 火曜日

印刷局

○第十三回 帝國議會衆議院議事速記錄第二十四號

明治三十二年二月六日(月曜日)午後一時九分會議

議事日程 第二十二號 明治三十二年二月六日

午後一時開議

第一 印紙稅法案(政府提出)

第二 營業稅法中改正法律案(政府提出)

第三 農工銀行法中改正法律案(政府提出)

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第五 臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第七 特別年限地租増徵ニ關スル法律案(藤金作君外十名提出)

第八 府縣農事試驗場國庫補助法案(稻垣示君外二名提出)

第九 提出府縣水產試驗所水產講習所國庫補助建議案(恒松慶君外二名提出)

第十 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案(三田村甚三郎君外九名提出)

第十一 上奏案(安部井磐根君外一名提出)

第十二 (特別報告第一號)憲法ノ保護ヲ受クル請願

(委員長報告) 第十三 (特別報告第三號)民法中修正ノ請願  
(特別報告第八號)宮津港ヲ以テ商港ト爲ス  
(特別報告第九號)支那漆輸入關稅免除ノ請願

(委員長報告) 第十四 (請願顧願)是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス  
○議長(片岡健吉君) 貴族院ヨリ送付セラレタル議案左ノ如シ

貴族院ヨリ本院送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨通牒アリ  
特許法案 意匠法案 商標法案

貴族院ヨリ日本銀行納付金ニ關スル法律案ヲ回付セラレタリ  
裁判所設立廢止及管轄區域變更ニ關スル法律案  
貴族院ヨリ木院提出ニ係ル醫師會法案ニ對シ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議  
決シタル旨通牒アリ

貴族院ヨリ日本銀行納付金ニ關スル法律案ヲ提出セラレタリ

高木正年君ヨリ財政整理ニ關スル質問書ヲ提出セラレタリ

宮崎榮治君外四名恵松隆慶君早川龍介君河北勘七君西川宇吉郎君ヨリ遠洋漁業獎勵法中改正法律案ヲ提出セラレタリ

特別委員長及理事左ノ適當選セラレタリ

商法修正案

委員長

國有林野法案外三件

委員長

北海道水產稅則廢止法律案

委員長

地價地租ニ關スル法律案

委員長

國民教育授業料全廢ノ建議案

委員長

理 事

國民教育授業料全廢ノ建議案

委員長

大岡 育造君  
喬君

杉田 定一君

西村 真太郎君

加藤 政之助君

中野 豊五郎君

辰之助君

杉田 定一君

安川 繁成君

星野 善一郎君

和波 久十郎君

井上 信八君

牧口 義方君

星野 基右衛門君

高津 雅雄君

須藤 善一郎君

蒲野 錠平君

林 長瀬清一郎君

彦 一君

今村 千代太君

星野 基右衛門君

和波 久十郎君

井上 信八君

牧口 義方君

今茲ニ目下経費ノ節約スヘキモノニ三ノ事例ヲ舉ケ現内閣カ此間ニ處スルノ方法如何ヲ聞カントス

一陸軍經費ノ重ナルモノハ兵員ノ數ニシテ若シ教育其宜シキヲ得獎勵其序ヲ過タス特ニ習得ノ速カナルモノニシテ然カモ品行方正ナルモノヲ撰ヒ可成歸鄉兵ノ數ヲ多カラシメハ一一其兵數ヲ減シテ其費用ヲ節省シ二ニ其軍紀ヲ匡正シ從テ其經費ヲ節スル大ナリ而之ヲ爲サル如何  
一臺灣出役ノ兵員及ヒ北海道師團ノ兵員ハ之レヲ他ノ師團中ノ徵募區域ニ求メ更ニ其在地ニ赴カシムルハ現時ノ配置ナリ故ニ陸軍各隊ノ構成上平

一陸軍ノ消費スル物件頗ル多シ故ニ其買上ノ手續如何ニ依テハ之レカ費用ヲ節約シ且ツ其品質ヲ善良ナラシムルヲ得ヘシ目下近衛及各師團ノ監督部ニ於テナス所ノ買上手續ハ甚タ其當ヲ得サルモノアリ爲ニ之レカ費額ヲ増大ナラシムルノ弊アルハ如何  
一 行軍演習等支拂上豫算ノ費目等相適ハサルモノアリ而毫モ事實ニ於テハ其節約ヨリ來ル所ノ剩餘金ヲ見サルハ如何  
一 各官省中拂下品及買上品ニ付テ其手續ノ不親切ニシテ且ツ之レカ爲ニ多クノ損害ヲ官民二者ニ與フル者甚タ多シ殊ニ鐵道郵便等收入ニ關シテハ之レヲ他ノ事業ニ比シテ毫モ發達ノ痕跡ヲ見ス而モ爲ニ其收入ヲ減殺スルノ患アルハ如何

一 各官省中拂下品及買上品ニ付テ其手續ノ不親切ニシテ且ツ之レカ爲ニ多  
クノ損害ヲ官民二者ニ與フル者甚ダ多シ殊ニ鐵道郵便等收入ニ關シテハ  
之レヲ他ノ事業ニ比シテ毫モ發達ノ痕跡ヲ見ス而モ爲ニ其收入ヲ減殺ス  
ルノ患アルハ如何

○議長（片岡健吉君） 請假ノ件ニ附イテ、諸君ニ御詰リスルコトガゴザリマス、藤野辰次郎君ハ病氣ノタメ、本日ヨリ本月十九日マデ請假ヲ申出デラレマシタ、許可シテ御異議アリマスマイカ  
〔異議ナシト呼フ者多シ〕

明治三十二年二月六日

提出者  
贊成者  
小高木  
松喜正  
平治年

六通致シマス——是ヨリ會ヲ開キ

○高木正年君(百四十四番) 私ハ近來免角勝レマセヌタメニ、久シク沈黙致シテ居リマシタガ、今日ノ質問ハ自ラ好ンテ致スヨリモ、時勢已ムベカラザル事情ノ上カラ、一ノ質問ヲシナケレバナラヌコトニ相成リマシタコトデゴザイマス、例ヘバ今ヤ國ノ收入ノ不足ノ上カラ、種々ナル増稅案ヲ提出セラレテ居ルノデゴザイマス、私共此間ニ於テ親切丁寧ニ國ノ財政ノ上ニ附イテ、一考慮ヲ煩ハサナケレバナラヌ機會ニ遭逢シタト同時ニ、是等增稅案ヲ議スルニ、先達ヲテ、一ノ質問ヲセナケレバナラヌコトガ生ジ來ツタノデゴザイマスル、其コトハ何デアルカト申シマスルト、近來私共ガ聞ク所ニ據リマスルト、政府ハ一方ニ於テ種々ナル増稅案ヲ出シナガラ、他方ニ於テハ如何ニモ其整理ノ居カザルタメ、總テノ上ニ附イテ、親切ニ之ヲ調査シ丁寧ニ之ヲ

熱考スルコトノナキガタメニ、或ハ溫ニ稅ヲ起シ溫リニ手數ヲ要スルト云フ  
ガ如キハ、今日政府ガ事々物々ニ對シテ注意ヲ怠ル實際ノ有様デゴザイマス  
ル、議會モ半以上ヲ過ギテ、今日ニ至ツテ財政整理ノ質問ヲ致スト云フコト  
モ、即チ強テ私ヲシテ言ハシムルニアラズシテ、政府ガ私ヲシテ聽カザラシ  
ムルヲ得ザルノ運命ニ立至ラシメタノデアルト、御覺悟ヲ願ヒタイノデゴザ  
イマスル、聞ク所ニ據リマスルト、家屋稅ハ當ニ撤回セラレントスル今日デ  
アルサウデゴザイマスル、此コトハ何ヨリ來ルカト云ヘバ、政府ガ今日ニナッ  
テ種々ナル攻撃ノタメニ、初テ氣ガ附イテ調ベテ見ルト、彼ノ葉煙草專賣  
ノ如キ恰モ專賣ニ依ツテ得ル所ノ利益ノ如キ、其取締ヲ一層確實ナラシメバ、  
家屋稅ヲ此際徵收セザルモ可ナリト云フコトヲ自白シタノデゴザイマスル、私  
諸君、豈ニ驚クベキコトデハゴザイマセヌカ、是ニ於テ私共總テノ豫算ノ上  
ニ、總テノ行政ノ費用ノ上ニ、總テノ行政ノ手續ノ上ニ、一ノ考慮ヲ此間ニ  
於テ、政府ニ質問スベキ最モ必要ナル事柄ヲ發見シタノデゴザイマスル、私  
共ハ如何ニ辯論ヲ致シテモ、如何ニ考慮ヲ致シテモ、既定ナル歲出其モノニ  
附イテハ、政府ノ同意ナイ以上ハ、容易ニ之ヲ削減スルコトガ出來ナイノデ  
ゴザイマスル、然レドモ政府ガ其良心ニ問ウテ、眞實ニ之ヲ爲スノ考ガアッ  
タナラバ、諸君ドウデアル、一億万圓ニ近イ所ノ國防ノ費用ノ上ニ附イテハ、  
最モ此間ニ節減ヲナシ得ルノデゴザイマス、是ハ一ニ政府ガ忠實ナルト、或  
ハ國家ニ不忠實ナルトノ間ニ於テ、是等ノ境ハ定マルノデゴザイマス、私が  
ゴザイマスル、然レドモ政府ガ其良心ニ問ウテ、眞實ニ之ヲ爲スノ考ガアッ  
タナラバ、諸君ドウデアル、一億万圓ニ近イ所ノ國防ノ費用ノ上ニ附イテハ、  
陸軍ニ關スル費用謂バ陸軍ノ行政ノ亂レタルガタメニ、種々ナル手數ヲ掛ケ  
テ、而モ其仕拂ノ上ニ附イテハ頗ル疑フベキコトガアルノデゴザイマス、今日  
ニ於テ増稅案ヲ決シ、增稅案ニ附イテノ審査ヲ爲サントスルニハ、先づ第一  
ニ是等ノ問題ニ附イテ其理非ノ明ナル所、政府ノ責任如何ヲ匡シタ後テナ  
ケレバ、吾々ハ是等ノ案ニ向ツテ審議ヲ要スルコトガ出來ナイノデゴザイマ  
ス、是が今日ノ質問ノ第一ノ要點デゴザイマス、陸軍ノ十四師團半ノ兵ト云  
フモノガ、誠ニ今日ノ時勢ニ適當シテ、而モ此行政費ヲ仕拂フ上ニ附イテ、  
一片ノ疑惑ナカラシメバ、私共徒ニ辯ヲ好ムコトハ爲サヌノデゴザリマスル、  
然レドモ謂バ、今日政府ノ遣リ方ハ、所謂金ヲ出スベキ途サヘアラバ、溫ニ  
之ヲ失費シテ毫モ顧ミナイト云フ實際デゴザイマス、動モスレバ國家ナル名  
稱ノ上ニ於テ危急已ムベカラザル費用デアルト云フカト思フト、一方ニ於テ  
ハ如何ニモ不始末ニ、如何ニモ不整理ニ、如何ニモ不埒ナ使方ヲ致スノデゴ  
ザリマス、陸軍ノ費用ノ重ナルモノハ何デアルカト申シマスルト、所謂兵ノ  
數ガ一ノ日本ノ財政ノ上ニ於テ一大支出ヲ爲スノデゴザイマス、兵ノ數ト云  
ニ言フ必要ハナイノデゴザイマス、サリナガラ兵ヲ節スルト云フコトガ、彼レ  
ノ德義ニ於テ爲シ得ルコトデアル、彼レノ良心ニ於テ直チニ之ヲ決行スルコ  
トガ出來ルノデゴザイマス、今ヤ幸ニ日本帝國ノ元帥ト云フ名ノアル人ハ、内  
閣ニ殆ド五人程ノ人ガ出テ居ルノデゴザイマス、大將ト云ヒ中將ト云ヒ殆ド  
内閣員ハ、軍事ノ思想ヲ以テ過半數ヲ占メテ居ルノデゴザイマス、是等ノ人  
人ガ眞實ニ我國ノ財政ヲ整理スルト云フ考ヲ持ツタナラバ、決シテ前内閣ガ

僅カ海軍及陸軍ノ二省ト云フモノ、豫算ニ手ヲ著ケルコトノ出來ナカタト  
 ハ全ク違ッテ、今日ノ内閣ハ自ラ是等ヲ整理スル所ノ頭ヲ澤山備ヘテ居ルノ  
 デゴザイマス、一方ニ城郭ヲ占メテ居ッテ、如何ニ之ヲ攻撃シテモ、如何ニ之  
 ヲ忠告致シテモ、唯一隅ニ割據シテ之ニ應ジナイトキニハ、誠ニヤリニクイ  
 ノデアルガ、今日ノ政府ガ自ラ其責ニ當ッテ居ルノデゴザイマス、内閣ノ多  
 敷ハ自ラ之ヲ整理セントセバ、自己ノ手腕ノ下ニ直チニ是等ノ整理ガナシ得  
 ルノデゴザイマス、何ガ今日ニ於テ最モ不必要ナル兵數ヲ増シテ居ルノデア  
 ルト申シタナラバ、近來稍、軍人以外ニモ其醜體ヲ認メテ是ニ向クテ警告セ  
 ントシツ、アル所ノ彼ノ從卒ナルモノガ、今日陸軍ニ一ノ不經濟ヲ造出ス所  
 ノ禍ノ元デゴザイマス、從卒ナルモノハ何故ニ必要デアルカ、或ル場合ニ於  
 テハ將校ニ附イテハ、或ハ是非之ヲ養ハネバナラヌ、サリナガラ今日我國ノ  
 陸軍ニ於ケルガ如ク、苟モ一ノ事故ヲ以テ努テ之ヲ使用シ得ル限ハ、徒ニ自  
 己ノ奴隸ノ如ク、自己ノ門番ノ如ク、自己ノ玄關番ノ如ク、濫ニ從卒ノ兵ヲ  
 殖シテ、而モ其タメニ陸軍ノ軍紀ヲ紊シテ居ルコトハ、明々白々ノ事實デ  
 ゴザイマス、獨リ是ノミナラズ、一士官ガ自己ノ小使ノ如ク、自己ノ奴隸ノ  
 如ク、自己ノ馬ニ飲ハセ、自己ノ會計ヲ調理セシムルノデゴザイマス、獨リ軍紀ヲ  
 出テ參ッテ、未ダ社會ノ風ニ當ラザル所ノ純粹ナル國民ヲシテ、自ラ是等一  
 家ノ紊亂セル家政ニ關係セシムルノ極、陸軍ノ軍紀ヲ紊シテ居ル、紊サシム  
 ルト云フコトハ、最モ今日ニ於テ吾々ガ憤慨シテ、諸君ト共ニ是等ノ醜體  
 ヲ監査シ、從テ是等ノ弊害ヲ除カネバナラヌノデゴザイマス、獨リ軍紀ヲ  
 紊スノミナラズ、或ル場合ニ於テハ是等ノ士官ニ附キ、是等ノ兵曹ニ附ク所  
 ノ從卒ナルモノガ、自然其隊ニ於ケル所ノ士官ニ近接シ、若クハ將校ニ近接  
 スルガタメニ、自然是等ノ從卒ナルモノガ、他ノ優等ナル兵ノ教育ヲ受ケタ  
 リシテ陸軍ノ軍紀ヲ紊スコトハ、其極遂ニ一體ノ兵士ノ志ヲ腐敗セシメテ、  
 遂ニハ徒ニ言ヲ巧ニシテ、自ラ其上ニ進ムト云フガ如キ傾ヲ生ジクノデゴザイマス、  
 荷モ如何ニ勇敢ナル兵モ、如何ナル忠勇ナル兵卒ト雖モ、一タビ軍紀ヲ紊シ、  
 其阿ネル所ニ依クテ進ムノ弊ヲ生ゼシメタナラバ、諸君如何デアルカ、是ヨ  
 敗幾許デアルカ、吾々ノ豫想シ得ベカラザル所ノ多數ノ兵數ヲ持ッテ居ルノ  
 デゴザイマス、一體陸軍ノ數ト云フモノハ、徒ニ多キヲ好ム必需要ハナイノデゴ  
 ザイマス、陸軍ノ教育ヲシテ完全ナラシメタナラバ、寧ロ五十万ノ兵數ヨリ  
 モ、或ル場合ニ於ケル一千五万、若クハ三十万ノ兵數ガ、我國ヲシテ金城鐵  
 壁タラシムル所ノ護リヲ爲スノ目的ヲ達スルノデゴザイマス、然ルニ今日ノ  
 陸軍ハ徒ニ兵ノ數ノ多キヲ求メテ、毫モ其改良ノ點ニ注意セズ、徒ニ兵ノ多  
 キヲ誇ッテ、獨リ陸軍ノ門戸ヲ賑カスト云フコトガ、陸軍今日唯一ノ仕事ノ  
 ヤウニナシテ居ルコトハ、吾々ガ最モ此間ニ於テ注意シテ之ヲ觀察セネバナラ  
 ヌノデゴザイマス、兵ハ如何ニ教育ノ上ニ附イテ之ヲ獎勵スルモ、獎勵其物ノ  
 手續ヲ爲サネバ、決シテ獎勵其物ノ實ノ舉ゲルコトハナイノデゴザイマス、彼  
 ノ歸郷兵ト云フモノ、制度ノ如キハ、一方ニ於テ不斷軍事ノ思想ヲ養ハシメ、  
 一方ニ於テハ隊ニ入ルノ日ヨリシテ、直チニ其教育ニ熟練セシムルノ獎勵法  
 手爲ルノデゴザイマス、三年ノ間兵舎ニ居ルコトハ、獨リ如何ニ國ノタメニ  
 熱心デアフテモ、或ハ一家ノ經濟ノタメニ、或ハ種々ナル事情ノタメニ、一

日モ早ク自己ノ家ニ歸ツテ、其父母ニ事へ、若クハ其家産ヲ興サンコトヲ願  
 フノハ、何レノ國ノ人種ト雖モ、一般ニ希望スル點デゴザイマス、此希望ヲ  
 懐キ此希望ヨリ生ズル所ノ目的ヲ利用シテ、陸軍ノ教育ヲシテ一日モ速ニ彼  
 ノ兵士ナルモノニ、不斷ノ勉強ヲ獎勵スルト云フコトハ、誠ニ必要ナコトデ  
 アッテ、此獎勵ノ上カラハ早ク兵ノ教育ヲ受ケテ、歸郷兵トナツテ一日モ速ニ  
 兵士ノ品行ハ從ツテ進ミ、彼ノ師團所在地若クハ其他ノ屯營地ニ於テ、  
 兵士自ラガ風俗ヲ亂シ、其亂シタル風俗ニ狃レテ、知ラズ識ラズ疾ヲ得テ、時  
 ニハ不具ノ人ヲ生ズルガ如キ不體裁ノ出來事ガ、全ク此等ノ間ニハ消滅シ去  
 ルノデゴザイマス、如何ニ鞭タントシテモ、如何ニ繩打タントシテモ、人ハ獎  
 勵ノ正シキ筋ヲ履マネバ、決シテ其獎勵ノ目的ヲ達シ得ルモノハゴザイマ  
 斯エ、今日ノ陸軍ハ務テ兵士ノ教育ヲ謹直ニシ、其品行ヲ進メ、從テ此歸郷  
 兵ノ數ヲ增加シテ參ッタナラバ、我國ノ經濟ヲ整理スルノ一端ト爲リ、進ンデ  
 ハ此間ニ於ケル兵士ノ品行ヲシテ善良ナラシメ、一朝事アタトキニ健全ナル  
 數ノ兵士ヲ徵發スルコトガ出來得ルノデゴザイマス、今日ノ有様デアリマス  
 レバ、兵ヲ養ハント云フヨリハ寧ロ兵ヲ腐ラスト云フコトガ、實際ノ有様デゴ  
 ザイマス、ソレカラ「簡短タク」ト呼フ者アリ、簡短ト仰セラレマスカラ、私ハ  
 勉テ簡短ニヤリマスガ、御聽ニナツタ上無用デゴザイマスレバ、御叱ヲ下サル  
 トモ、先づ暫ク御聽下サイ、第二ノ質問ハ、現在今日此陸軍ト云フモノハ、今申  
 スガ如キ最モ我國ノ多數ノ困難ヲ醸サシムル所ノ此増税ヲ食ムノ一大禍源デ  
 ゴザイマス、此禍源ハ獨リ兵ノ多キ上ニノミ來ルノデゴザイマセヌ、諸君最  
 モ茲ニ近キ一例ヲ申シマシタナラバ、此東京ノ師團監督部若クハ近衛監督部  
 ニ近來行レル所ノ隨意契約ト云フモノ、上ニ起ル弊害ハ、如何デゴザイマス  
 カ、茲ニ最モ適切ナル一例ヲ申シマシタナラバ、彼ノ陸軍ニ養フ所ノ馬ニ喰ハ  
 シムル所ノ秣ナルモノガゴザイマス、是ハ一昨年昨年ノ始アタリニ於テハ、總  
 テ競争入札ニシテ買入レタノデゴザイマス、然ルニ近來ハ或ル規則ノ上カラ、  
 隨意契約ヲ爲スコトヲ得ト云フコトヲ利用シテ、而モ其金額ハ競争契約ヨリ  
 モ僅ニ五圓ノ間ニ於テ七圓——即チ一圓ノ高價ヲ以テ、之ガ隨意契約ヲ爲スト  
 云フガ如キ、最モ不埒ナル最モ亂暴ナルヤリ方ヲナシテ居ルノデゴザイマス、  
 物價ガ騰貴シタト云フコトガ、或ハ口實デアルナラバ、茲ニ一例證ガアルノ  
 デゴザイマス、昨年十月——十一月頃宮内省デ秣ヲ買入レルトキニ、如何ナル直  
 段デ買入レタカト云フト、競争入札ノ結果、百貫目ニ附キ四圓九十錢ト云フ價  
 デアタノデゴザイマス、陸軍ノ入札價格ノ平均ハ、稍、五圓位ヲ常ニ買テ居  
 ルノデゴザイマス、然ルニ此場合ニ於テ陸軍ハ矢張七圓ノ高價ヲ以テ、彼ノ御  
 用達ト稱ヘル所ノ四名ノ用達ニ隨意契約ヲ爲シムノデゴザイマス、近來陸軍  
 ノ擴張ト共ニ秣ノ需要ト云フモノガ、非常ニ高額ニ上リマシタガ、此高額ノ上  
 カラ四圓九十錢乃至五圓若クハ七圓ノ間ノ差ヲ考ヘテ見マシタナラバ、此簡  
 條デモ郵便稅ヨリ生ズルダケノ增稅ダケハ、確ニ無駄ニ拂ツテ居ルト云フ事實  
 ガ生ズルノデゴザイマス、此コトハ陸軍デモ近來ハ餘程氣ガ附イテ、殊ニ經理  
 局ハ近來私ハ度々此コトハ、自身ニ往ツテ質問ヲ致シテ、其顛末ヲ調べタノデ、

決シテ事實ニ於テ違<sup>ツ</sup>テ居ルコトデハナイト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタインデゴザイマス、經理局デハ自己ノ下ニアル所ノ師團監督部若クバ近衛監督部デ、斯様ナコトガアタタメニ、昨今ハ頻ニ注意シテ、明治三十二年度ヨリハ成ルベク斯様ナコトガナイヤウニト云フコトニ附イテ、度々私共モ其間ノ消息ヲ得テ居ルノデゴザイマス、是ハ經理局ノ手落ト云ハニヨリ、監督ガ、所謂隨意契約ヲ爲スコトヲ得ルト云フコトノ上カラ、斯様ナル濫ラナル、斯様ナル不經濟ナル隨意契約ニナシテ、世ノ中ノ批難ヲ自ラ招イタノデゴザイマス、デ、一體私共ハ諸君ト同シキガ如ク、此豫算ヲ議シマストキニ、彼ノ既定歳出ト云フ上カラ、縱令之ヲ修正シテモ、政府ガ承諾ヲシナイトキハ、常ニ別附ケラレルノデゴザイマス、サリナガラ陸軍省ガ若シ此國情ヲ察シテ、親切ニ丁寧ニ之ヲ審査シ、我國情ノ上カラ公平ニ觀察シテ、之が處分ヲ爲スナラバ、縱令今日ノ豫算ハ豫算其儘通過シテモ、政府ハ德義上此間ニ於テ節略ヲシナケレバナラナイノデゴザイマス、茲ニ丁度葉煙草ノ收入ヨリモ三四百万、取締サヘ良クバ出ルト陸軍ガ言ツタ如ク、私ノ言葉ヲシテ事實ニ行ハシメタラバ、確ニ醬油稅ナリ若クハ其他ノ稅ナリノ稅則ダケノ金額ハ、右ノ手ヨリ左ノ手ニ戻<sup>ツ</sup>テ來ルト云フ、最モ經濟ナル陸軍ノ整理ガ出來ルノデゴザイマス、ソレハ何デアルカト云ヘバ、彼ノ北海道ニ送ル師團ノ増兵ハ、何レノ方法ニ依<sup>ツ</sup>テ之ヲ募集シテ、ルト云フコトハ、今日ノ陸軍ガ採<sup>ツ</sup>テ居ル所ノ方針デゴザイマス、尤モ是ヨリ何レノ方法ニ依<sup>ツ</sup>テ之ヲ教育シテ送ルコトヲ爲シ得ルカト云フト、此點ニ於ナリ若クハ其他ノ稅ナリノ稅則ダケノ金額ハ、右ノ手ヨリ左ノ手ニ戻<sup>ツ</sup>テ來ルト云フ、最モ經濟ナル陸軍ノ整理ガ出來ルノデゴザイマス、ソレハ何デアルカト云ヘバ、彼ノ北海道ニ送ル師團ノ中ニ於テ之ヲ募集シテ、而シテ北海道ナリ臺灣ニ送ルト云フコトハ、今日ノ陸軍ガ採<sup>ツ</sup>テ居ル所ノ方針デゴザイマス、然ルニ此送ル他ニ良イ方針ハナイガ、現時一師團ハ大約二百万圓ノ經常費デアルガ、北海道ニハ之ニ増スコト七十萬、即チ兵舎其他ノ新築費ハ別ニシテ、經常費ガ即ヨリ彼ノ銃卒ヲ減ジ、其他ノ方法ニ依<sup>ツ</sup>テ、何時デモ徵集シ得ラレル所ノ優等ナ兵士ヲ歸郷サセテ、其中ヨリ更ニ北海道臺灣ヲ徵ルトキニ、幾許カ手心デ所ノ兵ハ今申ス如ク、他ノ十一師團ヨリ取<sup>ツ</sup>テ之ヲ送ルト致シマスレバ、此間兵ノ數ヲ節シテ、一朝事アルトキニ之ヲ徵發スル途サヘ立<sup>ツ</sup>テ居リマスレバ、此間ニ於テ二二百万、少クモ百万圓ノ金額ヲ減ズルコトハ、彼ノ手腕ニ於テ最モ容易ナルコトデゴザイマス、ソレカラ第三ノ事柄ハ何デアルカト申シマスルト、此陸軍ハ近頃殊ニ模範ニ行レテ居ル、行軍演習等ニ於テ如何ナル不都合ナル事蹟が生ジテ居ルノデゴザイマスカ、陸軍ノ豫算ハ今更茲ニ言フ必要ハゴザイマセヌ、諸君モ御熟知デゴザイマスガ、豫算ハ一人當リノ行軍費ガ、二十五錢以上ニナシテ居ルノデゴザイマス、物價騰貴ノタメニ餘程此間ニ於テ其價格セ上<sup>ツ</sup>テ居ル譯デゴザイマスガ、實際之ヲ仕拂フ時分ニ如何ニシテ之ヲ仕拂フカト云フト、直切りニ直切<sup>ツ</sup>テ、僅カ十七錢十八錢位シカ拂ハナイノデゴザイマス、拂フト申シテモ元ト徵發サレタモノデアリマスカラ、此國民ハ喜ンデ安ク請合<sup>ツ</sup>ガ、此請合<sup>ツ</sup>間ニ餘ル所ノ金額ハ、ソイゾ一度モ決算ニ還<sup>ツ</sup>テ來タコトハナイノデゴザイマス、現ニ昨年東京灣ノ水泳ニ參<sup>ツ</sup>タル兵ノ如キハ、實際長クナシタ、メニ、土地デモ非常ニ難儀ヲシマシタガ、免モ角陸軍ト云フ上カラシテ、損ヲシテモシナケレバナラムト云フテ居タガ、如何ニモ長クナルタメニ、到頭其後ニハ宿屋ヲスル人ガナクナツタ位ニ困<sup>ツ</sup>タノデゴザイマ

ス、タシカ其仕拂ハ十七錢位ト覺エテ居リマスガ、實際ニ於テ陸軍カラ友出スル費用ハ、僅カ十七錢位ノモノデハゴザイマセヌ、是ハ今日ニ始シタコトナラ免モ角、數年前ヨリ斯ノ如ク小演習ノ如キ、或ハ行軍ノトキニ於テ、常ニ斯様ナコトハ諸君モ定メシ御承知ト思ヒマスガ、直切ルノモ宜シイノデゴザイマス、サリナガラ唯直切ルバカリデ、折角國民ガ自己ノ生活ヲ殺イデ、護國ノ務ヲ爲ス所ノ此忠愛ナル兵士ノタメニ、自家ノ生活費ヲ殺イデ、之ヲ優待スルハ宜シイガ、其一般ニ優待ヲスルガタメニ、幾ラカ陸軍省ノ方ニ剩餘金ヲ生ゼニエバナラヌノニ、却ツテ之ヲ生ジナイノヲ以テ、損ヲスレバ損ヲシタ人ノ損デアルト云フコトニナルノハ、吾ミハ決シテ之ヲ看過スルコトハ出來ナイノデゴザイマス、ソレカラ今一ツ序ニ陸軍ノコトヲ申シマスガ、彼ノ近來ハ行軍演習ト云フコトガ屢々行レマスガ、或ル場合ニ於テハ陸軍省ニ於テ輜重ヲ備ヘテ、自ラ其費用デ之ヲヤルコトガゴザイマスガ、多クハ別ニ演習費ナルモノガ備ツテアッテ、食料等ハ其方ヨリ支出スル制度ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、然ルニ近來ハ演習拵ノ度ハ殖エルガ、如何ニ殖エテモ其留守ニハ矢張イツモノ兵ガ居ルダケノ食料ヲ費シテ居ル、ソレハ何處ニモ戻ツテ來ナイ、一體申シマスト是ガ個人ニ給金デ遣ルノデハナク、米ヲ買ツテ置イテ與ヘルト云フコトニナツテ居ル以上ハ、豫算ノ石數ハ何時モソレダケハ食ツテ減ラヌト云フコトハ、頗ル不可思議ノコトデアリマスガ、ツイゾ剩ツタコトハ聞カナイノデゴザイマス、況ヤ是ハ不斷ノコトデアル、演習拵ニ往ツテ其留守ノ間モ、ソレダケノ兵ガ食フダケノ物ハ、何時デモ此決算ニハ食ツタヤウニナツテ來ルノデゴザイマス、此點ニ於テ政府ガ如何ニ厚顏デアッテモ吾ミノ攻撃ハ堵措イテ所謂日本帝國ナルモノ、體面ノ上カラ、是非トモ種々ナル増税ヲ爲シテ、文明ノ行届キタル所ノ郵便ニマテ稅ヲ課シテ、取ラナケレバナラヌト考ヘル次第デゴザイマス、尙ホ斯ノ如キノ財政ノ紊レテ居ルト云フコトハ、如何ニシテモ今日ノ内閣ニ向ツテ反省ヲ求メネバナラヌノデゴザイマス、況ヤ唯今申ス如ク此等ノコトヲ處理スルニハ、今日ノ山縣内閣ハ最モ便利ナル内閣デアルノデゴザイマス、孰ノ内閣モ憲法ノ上デ、或ル場合ニ於テハ正當ナリト稱スベキ内閣ノトキデモ、内閣ニ之ヲ議決スルト、隅ノ方ノ元帥府ト云フモノ、若クハ陸軍ノ總テノ機關ガ、是ニ反対シテ之ガ削減ガ出來ナイガ、今日ハ元帥其人ハ即チ内閣ノ多數ヲ占メテ居ル元帥府ガ承知シナイカラト云フコトハ、決シテ今日ノ内閣ハ云フコトノ出來ナイ資格ヲ有シテ居ルノデゴザイマス、今日ニシテ若シ陸軍省ノ財政ノ整理ヲ爲スコト能ハズンバ、今日ノ元帥若クハ是等ニ從フ所ノ總テノ機關ハ、我國ヲ守ルニアラズシテ、我國ノ財政ヲ紊スノ一大禍源デアルト云フコトノ評言ヲ下スコトハ、眞ニ無理カラヌ評アアルト、諸君ハ斯様ニ御同意アランコトヲ望ムノデゴザイマス、ソレカラ諸官省ヲ拾テ参レバ、澤山是等ノ不經濟的ノコトハゴザイマスガ、左様ニ長ク述べルコトハ、今日自分ノ身體ガ許シマセヌカラ、今一ツ二ツ述ベマシテ此壇ヲ降リマス、最モ吾ミガ痛嘆シナケレバナラヌノハ、一體政府ノ人ハ如何ナルコトガ長所デ、如何ナルコトガ短所デアルカト云ヘバ、彼ノ理財ト云フ上カラハ、全ク素人ノ遺リ方ヲ爲シテ居ルノデゴザイマス、其證據ハ彼ノ物品會計ト云フモノハ、如何ニ窮屈ナ如何ニ——丁度盲者デモ小供デモドンナ人デモ出來ルヤウニナツテ居ルノハ、即チ物品會計法デアルガ、是テ政府ガ財政ノ不長所デアルト云フコトガ分ルノデゴザイマス、ソレ故ニ如何ナル人ガ來テモ、會計ノ長

官ニハナレル、如何ナル人デモ會計ヲ掌ル所ノ役人ニナレルノハ彼ノ物品會計ト云フモノ、上カラ、何時デモ割出シテ居テ、而モ此會計法ガ窮屈ナルガタメニ、ソレニ對シテ種々ナル無責任ノコトガ起シテ來ルノテゴザイマス、今日ノ物品會計法ナルモノ、存スル間ハ、如何ニ吾ミガ責メテモ今ノ遣リ方デハ、財政ヲ整理スルコトノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデゴザイマス、最モ此等ノ點ニ於テ如何ニモ亂暴ナル遣リ方ヲナシテ居ルノハ、彼ノ遞信省ト云フモノハ、餘程前カラ是等ノ謬政ヲ傳ヘ來シテ居ルノテゴザイマス、丁度前内閣が出來マス一月バカリ前ニ、遞信省ガ燒ケタコトガゴザイマス、遞信省ノ玄關ヲ上リマスト、諸君モ知ラル、ガ如ク監督局ナルモノガアッタノデゴザイマス、木造ノ家ガアッタノデゴザイマス、然ルニ彼ノ火災ノトキニ、此家ガ半分バカリ残リマシタガ、其家ノ燒ケタ跡ノ入札ヲ致シタ手續ハドウデアルカト云フト、其家ノ燒殘リト其側ニ一ツバカリ倉庫ガアツタノデゴザイマス、鐵物ヲ入レル倉庫ガアッタノデゴザイマス、土曜日ノ夕方ニ燒ケテ、彼處ニ出這入ル御用商人スラ知ラナイ中ニ、小使部屋ノ前ニ掲示ヲ出シテ、月曜日ノ朝入札ヲシテ、豫定價格ガ一十圓デアルテ、實際二百七十圓デ落札シテ、豫定價格ヨリ多イヤウデハアルガ、其内實ハドウカト云フト、灰ノ下ニハ澤山ノ鐵物ガ這入シテ居ラテ、丁度實價一千七百圓バカリノ古鐵物ガ其中カラ出ダメゴザイマス、一體遞信省ノ行リ方ノ杜撰ナルコトハ珍クナシ、度々私共モ二十三年以來屢々質問モナシ、屢々此コトニ向シテ矯正ヲ求メテ居ルガ、彼ノ豫定價格ト云フモノハ不都合ヲ爲シタ事蹟ハ、諸君ノ知ラル、通デゴザイマス、然ルニ是ハ遞信省デハゴザイマセヌガ、大阪ノ築港ニ於テ近來豫定價格ト云フモノヲ二ヶ所ヘテ、兩方ノ間デ向フノ豫定價格トキヲチリ合ハナケレバ、用ヲ言附ケヌト云フガ如キ不都合ナコトガアルノデゴザイマス、物品會計法ヲ開イテ讀ンデ見マスト、豫定價格ト云フモノハ、政府ガ定メテ所謂最高額ヲ示スモノデ、其以下ニ於テ幾ラデモ安イモノニ入札ヲ許スト云フコトガ、物品會計ノ規則デアルガ、以前ノ遞信省ハ同様ナルモノデナケレバナラヌト云フ曲解ヲシテ、彼ノ運輸會社ト通運會社トノ間ニ於テ種々ナル不都合ヲ生ジ、其他種々ナル買物ノ上ニ悉ク之ヲ利用シタガ、遂ニハ此コトモ世ノ中ノ攻撃ノタメニ止メテシマツタガ、今日大阪ニ行レタ彼ノ「セメント」ノ入札ノコトハ、是ヨリモットヒドイノデゴザイマス、一體私共ハ強チ金ヲ拂フバカリ謹直デアレバ宜イト申スノデハナイ、物ヲ買フ上ニモ政府トシテ其仕事ニ鄭重ニ之ヲ審查スルコトハ必要デアルト同時ニ、之ヲ買入ル、人民ノ便利ヲ計ラナケレバナラヌ、安クシテ正シキモノハ採レヌ、如何ニモ遞信省ノ買物ハ、是ハ前々内閣ノ時代デアッタガ亂暴デアル、買フ人ニ對シテモ賣ル人ニ對シテモ、不親切極マル扱ヲ爲シテ居ルノデ、遞信省ガ燒ケマシタトキニ、縱令其書附ハナクトモ仕拂ハナケレバナラヌ、之ヲ認メナケレバナラヌノハ、政府ノ德義デアルニ拘ラズ、隨分或ル場合ニ於テハ、社會ノ商人ガコスイト云フ種類ヨリ、モウ少シ無慘ナル扱ヲシテ、慘酷ナル目ニ遭ハス所カラ、正實ナル者ガ行カナイト云フ、之ガ即チ今日入札ノ惡

ルイコトガ流行シテ來ル原因デアル、政府ガ丁寧ニ且ツ總テ品質ヲ善良ナラシムル點ニ於テ、成ルベク安ク之ヲ買受ケテ、向フノ手數ヲ省イテ、火災ノ如キ危險ノナイヤウニシテヤラナケレバナラヌノニ、遞信省ノ實際ハ、ヤルモノハ濫リニシ、買フモノニハ無慘ノコトヲシテ、損失ヲサセルト云フコトカラ、役所ノ仕事ハ山師ガ入札ニ行クヨリ外ニ正實ノ商人ハ行カヌト云フノガ、増稅案位ノ金ハ直ニ產ミ來ル實例ヲ申スノデゴザイマス、商賣ハ商賣、營業ハ營業デ、政府ノ營業ト民間ノ營業ト二ツノ種類ハナイデゴザイマス、然ルニ最モ近キ例ヲ申シマスレバ、昨年遷都祭ト云フコトガ東京ニゴザイマシタガ、此日丁度私ハ横濱ニ參リマシタ、十時頃ニナルト札ヲ買フコトが出來ヌデ、遷都祭ト云フヤウナコトガアルテモ遞信省ハ矢張イツモダケノ車シカ出サナインデ、神奈川へ行シテモ切符ヲ賣ラヌ、鶴見へ行シテモ賣ラヌ、大森ヘ行シテモ賣ラヌト云フガ如キ有様デアルガ、之ヲ民間ノ事業ニシタナラバ、造ニ會社ノ重役ハ、怠慢ノ責ヲ負ハナケレバナラヌ、世ノ中ニ便利ヲ與ヘ、ソレ丈ケノ準備ヲシナケレバナラヌノニ、斯様ナトキデモ少ノ準備モナイ、ソレガタメニ人ヲ困ラシタ上ニ、自分ノ方モ收入が出來ヌ、見物人が困ルダケナレバ見遁シテモ宜イガ、或ル場合ニ於テハ裁判所ニ證人トシテ出ルトカ、ソレ丈ケノ準備ヲシナケレバナラヌト云フコトデ、自ラ東京ニ出テ、銀行ナリ裁判所ナリニ行フト思シテモ、汽車ガ止シテ、ソレガタメニ権利上ノ損害ヲ受ケタ人モ隨分澤山アルノデゴザイマス、彼ノ郵便ノ如キ、是モ金額ヲ高クシテ國家ノ收益トシナケレバナラヌト申シマスガ、世ノ中デ金ヲ取ルト云フコトハ、商賣ノ上ニ於テ品質ヲ良クシテ、價ガ高クトモ買フダケノ信用ヲ起サナケレバナラヌ、ソレダケノ原素ハ保クテ置カナケレバナラヌノニ、近頃郵便ノ發達ニ附イテハドウカト云フニ、昨年ハ一昨年ヨリ、一段々ト遲クナシテ、學校ノ生徒ニ賴ムトカ、六便トアツテモ其事實三便シカ來ナカッタリ、現在私ノ所ヘ參ル郵便ノ如キ、局ニ達シテ居シテ僅カ三町位シカナイノニ、翌日ノ午後テナケレバ來ナイト云フガ如キ、全ク郵便ト云フモノハ、上ニ附イテ、監督ヲ怠シテ居ルノ例證デゴザイマス、是ハ私が申スマデモナク、諸君モ御承知ノ通、斯ノ如キ有様デアリマシタナラバ、增稅シタナラバ、マルテ郵便ハナクナシテ使ノ方ガ早イト云フコトニナシテ、費用ヲ減ズルト云フコトニナル、私ハ今日ノ場合徒ニ冗長ナル演説ヲ爲シテ、諸君ノ清聽ヲ讀スト云フコトハ、誠ニ御氣ノ毒デ、極テ左様ナコトハ申サヌガ、而モ四五日御承知ノ通自分ノ身體ノ惡ルキニ拘ラズ、今日ノ場合ヲ必要トシテ、質問ヲ爲スハ、以上概略述べタヤウナ事柄ガ、今日ノ財政上ニ蟠ツテ居シテ、諸君ガ金ヲ出セバ益々向フガ腐シテ行ク、丁度放蕩息子ニ母親ガ金ヲヤルト云フガ如キ有様デ、今日ハ寧ロ第一ニ財政ノ整理ヲ叫ブノガ必要デアル、其整理ノ上カラ不足スル金ハ、吾々ハ縦令血ヲ出シテモ、決シテ日本國ノ威嚴ヲ保ツト云フ上ニ於テ、少モ妨ナイダケノ財政ヲ作ルコトヲ好ムノデアル、作ルコトニ異存ハナインデアル、以上申ス如ク

今日ノ財政ハサル有様ニナッテ居ルカラ、願ハクハ此間ニ於テ政府ハ私共ヲシテ満足セシムル答辯ヲ與ヘテ、然ル後徐ニ國ノ財政ヲ議サンコトヲ望ミマスルニ衣ッテ、北特幾ノ切迫シタニ向ラく朱ニ七質問ヲ爲シヌ大第ニ、

○星亭君(二百三十四番)此席ヨリ申上ゲマスガ、第二條ハ委員會ノ修正ガアルヤウデゴザイマスガ、委員會ノ修正ヨリ原案ノ方ガ遙ニ宜イト考ヘマスカラ、原案ニ復活ニナリ、即チ委員會ノ修正ニ反對致シタイノデアル、原案ノ通ナラシコトヲ希望スルノデアルト云フコトハ、申スマデモナイガ、斯ウ總テ財政計畫上ニ於テ、片端カラ減ズルト云フコトナラバ、吾ミガ豫算ニ協賛ヲ與ヘタ其財源ガ無クナリマス、故ニ原案ニ復活致シ、委員會ノ少クナツタコトニ又對スル外ナイト思フ

○星亨君(二百三十四番)此席ヨリ申上ダマスガ、第二條ハ委員會ノ修正ガアルヤウデゴザイマスガ、委員會ノ修正ヨリ原案ノ方ガ遙ニ宜イト考ヘマスカラ、原案ニ復活ニナリ、即チ委員會ノ修正ニ反對致シタイノデアル、原案ノ通ナランコトヲ希望スルノデアルト云フコトハ、申スマデモナイガ、斯ウ總テ財政計畫上ニ於テ、片ツ端カラ減ズルト云フコトナラバ、吾ミガ豫算ニ協賛ヲ與ヘタ其財源ガ無クナリマス、故ニ原案ニ復活致シ、委員會ノ少クナタコトニ反對スル外ナイト思フ

シテ宜シウゴザイマスカ  
○安川繁成君(百二十一番) 私ハ國民教育授業料ニ關スル委員會ヲ開キタウ  
ゴザイマスカラ、是帝シテ宜シウゴザイマスカ

○井上信八君(七十二番) 私ハ此第二條ハ委員會ノ修正ヲ至當ト考ヘマスカ  
ラ、委員會ノ修正説ニ同意致シマス

○議長(片岡健吉君) 然ラバ許可致シマス——議事日程第一ノ印紙稅法案第  
二讀會

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、原案ニ附イテ採決致シマス  
起立者 少數

# 第一 印紙稅法案(政府提出)

第一讀會

○議長(岸田健吾君) 田中君

○田口卯吉君(百四番) 本員ハ此印紙稅法案ニ附キマシテ、意見ヲ述ベタイト考ヘマス、此印紙稅法案ハ現行ノ印紙稅法ニ比シマスレバ、非常ノ改良デゴザイマシテ、殊ニ原案ニ於キマシテ、爲替手形約束手形等ハ、其金額ニ拘

○議長(片岡健吉君) 演壇デ御述ベナサイ  
○田口卯吉君(百四番) ソレニ附キマシテ、原案ノ第二條ニ併テ論及ス  
トニナリマスルカラ……

チニ一枚一錢ト出テ居リマスノハ、商業上非常ノ便利デゴザイマス、デ、本員ハドウカ此點ニ於キマシテハ、原案ノ如クナリタイコトヲ希望シテ居リマシタ所ガ、委員會ノ修正ニ依リマシテ、爲替手形約束手形ハ、其金額三衣ツ

○議長(岸岡健吉君) 宜ウゴザイマス  
(田口卯吉君演壇ニ登ル)

テ二百圓以下ハ云々、千圓以下ハ云々一千圓以下ハ云々ト云フ如ク、爲替手形ニ種々種類ヲ附ケテ、斯ノ如ク修正セラレタト云フコトハ、本員ハ最モ遺憾ニ考ヘルノデアル、是等ノ手形ハ所謂商業上ノ信用ト云フコトデアル、商業上ノ信用ヲ發達サセナケレバナラヌト云フコトハ、吾ニガ豫テ希望シテ居リマスノミナラズ、大藏大臣ナリ大藏次官ナリガ、各地ヲ御巡廻ナサルトキニモ、常ニ演説スル所デアル、又民間ノ人トテモ商業上ノ信用ガ發達シナケレバ、日本ノ商賣ハ逆モ外國ト對峙スルコトガ出來ヌト云フコトハ、豫テ熱心ニ言ツテ居ル所デアル、然ルニ不幸ニモ爲替手形約束手形ニ對スル印紙稅ノ過重ナルガタメニ……(此時議長田口卯吉君ニ注意ス)ソレデハ第三條ニ至シテ申述ベマス

ナイ演説ヲ致シマシテゴザイマスガ、先刻申上ゲマシタコトヲ繰返シマスノ  
ハ、不都合ト考ヘマスカラ、先刻ノ演説ニ續ケテ申シマスカラ、左様御承知  
ヲ願ヒマス、唯今第二條ガ原案ニ復シマシタナラバ、此政府ノ財政計畫カラ  
致シマシテモ、更ニ爲替手形約束手形ニ向ツテ、重キ稅ヲ課スル必要ハナイ  
ト本員ハ考ヘマス、而シテ此爲替手形約束手形ニ向ツテ重イ稅ヲ課シマシタ結  
果、收入ニ於テハドノ位ノ差ガアルカト云フト、僅ニ六万圓ノ收入ガ國庫  
ニ這入ルダケノコトデアル、而シテ商賣上ドウ云フ結果ガアルカト申スト、  
是マデ足利ノ市場、或ハ桐生ノ市場ト云フ所ニ於キマシテハ、自然ニ信用ガ  
發達シテ居ツテ、爲替手形ヲ以テ品物ヲ買ヒ品物ヲ賣ルト云フコトガ、非常ニ  
發達シテ居リマシタノヲ、他ノ印紙稅規則ノタメニ、總テ之ヲ打破シテシ

○議長(片岡健吉君) 田口君ハ此印紙稅法案ヲ議事日程カラ延バシタイト云  
フヤウニ承<sup>ク</sup>タカラ、今演説ヲ許シマシタガ、サウデナイト云フコトデアリ  
マスカラ、是ヨリ第一條ヲ議題ニ供シマス、第一條ニ附イテハ格別御異議ハ  
アリマスマイ

マツタト云フ有様デアル、ソレヲ此度此原案ニ於テ爲替手形約束手形ノ印紙  
税貳錢ト云フコトニシマスレバ、以前ノ如ク總テノ議場等ニ於キマシテ、是  
等ノ手形ガ非常ノ流通ヲ爲シテ商賣ヲ發達サセ、始テ是デ信用ガ我國ノ商業  
上ニ發達シテ、歐米ト對峙スルコトガ出來ルト云フコトニナルト、私ハ信ジ  
テ居リマス、殊ニ諸君ニ向ツテ最モ訴ヘテ見ナケレバナラヌコトハ、此印紙  
稅法案ニ於キマシテ送金手形ト云フモノガナイデス、元來送金手形ト云フモ



ノモノカラ今日議事日程ニ上リマンタ譯デゴザイマス、委員ノ中ノ経過ヲ申シマスルト、委員ノ中テ本員ガ委員長ニ選舉セラレマレテ、河口善之助君ガ理事ニ選舉セラレマシテ、數回ノ評議ヲ經マシテ、御手許ニ回テ居リマスルヤウナ極簡易ナル修正ガ出來マシタ、全體本案ノ精神ハ提出ノトキニ、既ニ明瞭ニナツテ居リマシタルガ如ク、今年ノ半以後ニ外國人ガ日本へ來テ營業ヲ致シマスルトキニ、アチラニ本店ガアルテ、日本ニ支店ノアリマスノモアリマス、現在ニ於テモ日本人ガ外國へ出マシテ營業ヲシテ居ルノガアリマス、既チラニ本店ガアルテ、他ニ支店ガアルト云フヤウニナツテ居ルノガアリマス、

此本店支店ト別レテ居リマスルモノ、其資本ト云フモノニ區別ノゴザイマセヌモノガアリマス、其區別ノナイモノヲ全部ニ附イテ掛ケルト云フコトハ、條理モ許サズ事情モ許サヌノデゴザイマシテ、コチラニアルモノハコチラニ、アルモノダケノモノニ稅ヲ掛ケルト云フダケノコトデゴザイマス、唯今成立テ居リマスル營業稅現法律ノ不備ヲ補ヒマシタモノデゴザイマスルガタメニ、條理分明デ唯今申シタ通ノ譯デアリマシテ、別段ナ議論モゴザイマセヌ、唯讀下シタトキニ直チニ其意味ノ明瞭ニナルヤウニ「内國ノ分ニ限リ」ト云フ數文字ヲ之ニ加ヘタダケデ、決シマシタノデゴザイマス、斯ノ如ク文字モ別段ニ入組シダコトモゴザイマセヌ、意義モ明瞭デゴザイマスカラ、委員會デ可決致シマシタル通、本會ニ於テモ速ニ可決アランコトヲ望ミマス、尙ホ定規通日ヲ隔テ、決スルト云フコトデナク、速ニ御決議アランコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 本案ノ二讀會ヲ開クコトニ附イテハ、御異議アリマスマイカ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ナシト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 本案ハ委員會ノ報告告通、御異議ハゴザイマスマイカ  
 ○議長(片岡健吉君) 本案ハ委員會ノ報告告通、御異議ハゴザイマスマイカ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ナシト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、委員會ノ報告通決シマス  
 ○議長(片岡健吉君) 直チニ二讀會ヲ開イテ、確定セラレンコトヲ望ミマス  
 ○議長(片岡健吉君) 今恒松君ヨリ直チニ二讀會ヲ開クノ動議ガ出マシタガ、御異議ハゴザイマスマイカ  
 ○議長(片岡健吉君) 本案ハ委員會ノ報告告通、御異議ハゴザイマスマイカ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ナシト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、三讀會ハ可決シタルモノト認メマス、議事日程ノ第三、農工銀行法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、政府委員松尾臣善君

### 第三 豐工銀行法中改正法律案(政府提出)

### 農工銀行法中改正法律案

### 農工銀行法中改正法律案(政府提出)

### 第一讀會

農工銀行ハ府縣ノ爲ニ其ノ金錢出納ノ取扱ヲ爲スコトヲ得  
 第二十四條ニ左ノ一項ヲ加フ  
 農工銀行ハ府縣ノ爲ニ其ノ金錢出納ノ取扱ヲ爲スコトヲ得  
 第二十六條ニ左ノ一項ヲ加フ  
 農工債券ハ券面金額ヲ十圓以上トシ無記名利札付トス但シ應募者若ハ所有者ノ請求ニ依リ記名ト爲スコトヲ得

(政府委員大藏省理財局長松尾臣善君演壇ニ登ル)  
 ○政府委員(松尾臣善君) 本案ヲ提出致シマシタ理由ハ、府縣ト密接ノ關係ヲ有シテ居リマスル所ノ農工銀行ヲ致シマシテ、府縣ノ金錢出納ヲ取扱ハセマスルコトヲ便益ト致シマスル場合ニ於テ、取扱ハシムルコトヲ得セシムルタメニ、此法案ヲ提出致シマシタ譯デアリマス、ソレカラ又農工債權ノ券面ガ、唯今ノデハ少シ大キ過ギマシテ、零碎ノ資本ヲ吸收致シマスルニ不便デゴザイマスカラ、之ヲ十圓ト致シタイト云フ積テ、此案ヲ提出致シマシタ、ドウゾ此審議ノ上御協賛アランコトヲ願ヒマス

○恒松隆慶君(九十七番) 此案ハ委員ヲ十八名ト致シマシテ、サウシテ現ニシトスルモノモアリ、最モ急ヲ要シマスルノデ、委員ハ直チニ今日議長カラ、御指名ニナリマシテ、凡ソ五日間ニ議長ノ手許マデ報告セラル、ヤウニ、御注意アランコトヲ願ヒマス  
 ○議長(片岡健吉君) 尾臣善君  
 ○議長(片岡健吉君) 恒松隆慶君ノ委員ノコトニ附イテノ動議ハ、御異議ハゴザイマスマイカ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ナシト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通致シマス、議事日程ノ第五、臺灣銀行法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス——政府委員松尾臣善君

### 第五 臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)

### 臺灣銀行法中改正法律案

### 臺灣銀行法中改正法律案

臺灣銀行券ハ臺灣銀行本店及支店ニ於テ營業時間中何時ニテモ一圓銀貨ト引換フルモノトス  
 但シ支店ニ於テハ本店ヨリ準備金ノ到達スヘキ時間其ノ引換ヲ延期スルコトヲ得

### 營業稅法中改正法律案(政府提出)

### 第二讀會

### 第五 臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)

### 臺灣銀行法中改正法律案

### 第一讀會

### 臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)

###

第九條第十條第二十三條中「無記名式一覽拂ノ手形」第二十五條中「無記名式一覽拂手形」第二十六條中「手形ヲ銀行券ニ改ム」

(政府委員大藏省理財局長松尾臣善君) 本案ヲ提出致シマシタ理由ヲチヨウト申上ゲマス、現在ノ臺灣銀行條例デハ、一覽拂ノ手形ノ券面ガ五圓トナツテ居リマシ

テ、金貨ヲ以テ仕拂フト云フ手形ヲ出サナケレバナラヌコトニナッテ居リマスルガ、臺灣ノ状況ハ實際ノ取引ハ、總テ銀貨デゴザイマシテ、金ト云フモノハ

一ツモゴザイマセヌカラ、ソレデ此儘デゴザイマスルト、金貨ノ手形ヲ出シマシテ、サウシテ請取ル者ハ金ヲ請取ラネバナラヌト云フ結果ニナル、サウシマスルト臺灣銀行ナルモノハ、金ノ借ヲ致シマシテ、銀ノ財産ヲ持ツト云フコトニナリマシテ、其銀ノ下落デモ致シマスルトキニハ、非常ノ損ヲセヌケレバナリマセヌト云フ危險ガゴザイマスルガ故ニ、現行ノ法デハ結局一覽拂ノ手形ヲ出スコトガ出來ナイト云フ結果ニナラウト存ジマス、若シサウナリマスルトアノ銀行ヲシテ、臺灣ノ金融ヲ圓滑ニ致サセマスル見込ノ此一ノ機關ガ働くコトガ出來ナイト云フコトニナリマスカラ、此度一覽拂ノ手形ハ銀ヲ以テ書認メルヤウニ致シタイ、且ツ又五圓ト申シマスル高ハ、少シ金額ガ大キ過ギマスカラ、矢張一圓以上ノ手形が出セ得ルヤウニ致シタイト云フ考デ、此法案ヲ提出致シマシテゴザイマス、御審議ノ上御協賛ヲ願ヒマスル

○議長(片岡健吉君) 格別御質問モアリマセネバ、議事日程ノ第六、特別委員ノ選舉ニ移リマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
 ○恒松隆慶君(九十七番) 是ハ九名ノ委員デ、議長指名デゴザイマス、是モ今日御指名アランコトヲ願ヒマス  
 ○議長(片岡健吉君) 恒松隆慶君ノ動議、九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ、御異議ハアリマスマイカ  
 (「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)  
 ○恒松隆慶君(九十七番) 是ハ九名ノ委員デ、議長指名デゴザイマス、是モ今日御指名アランコトヲ願ヒマス  
 特別年限地租増徵ニ關スル法律案 第一讀會ノ續 藤金作君

第七 特別年限地租増徵ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(委員長)  
 (藤金作君外十名提出)  
 (藤金作君演壇ニ登ル)  
 ○藤金作君(百二十六番) 本案ニ附キマシテ報告ヲ致シマスガ、本案ニ附イテ一月ノ二十日ヨリ二月ノ三日マデ都合五回ノ委員會ヲ開キマシタ、委員長ニ藤金作、理事ニ林喬君ガ當選ニナリマシタ、此增徵地租ニ府縣稅町村稅ヲ賦課シナイト云フ本案ノ趣旨ニ就キマシテハ、政府委員ニ照會ヲ致シマシテ、  
 大藏省内務省ノ委員ノ出席ヲ求メマシタ、本案ノ如クナルカ、或ハ成ルヤ否ヤ、又如何ナル見込デアルカト云フコトヲ取調べマシタ所ガ、政府委員ニ於キマシテハ、大藏省モ内務省モ聊カ差支ナイ、却フテ便利デアルト云フ意味ヲ以テ答辯ニナリマシタ、又委員會ニ於キマシテモ孰レモ賛成デゴザイマシテ、満場一致デ可決致シマシタ、就イテハ提出者ガ第一讀會ニ於テ、一々其理由ハ辯ジテ居リマスカラ、委員長ハ唯經過ノミ御報告ヲ致シマス

○藤金作君(百二十六番) 本案ニ附キマシテ報告ヲ致シマスガ、本案ニ附イテ一月ノ二十日ヨリ二月ノ三日マデ都合五回ノ委員會ヲ開キマシタ、委員長ニ藤金作、理事ニ林喬君ガ當選ニナリマシタ、此增徵地租ニ府縣稅町村稅ヲ賦課シナイト云フ本案ノ趣旨ニ就キマシテハ、政府委員ニ照會ヲ致シマシテ、  
 大藏省内務省ノ委員ノ出席ヲ求メマシタ、本案ノ如クナルカ、或ハ成ルヤ否ヤ、又如何ナル見込デアルカト云フコトヲ取調べマシタ所ガ、政府委員ニ於キマシテハ、大藏省モ内務省モ聊カ差支ナイ、却フテ便利デアルト云フ意味ヲ以テ答辯ニナリマシタ、又委員會ニ於キマシテモ孰レモ賛成デゴザイマシテ、満場一致デ可決致シマシタ、就イテハ提出者ガ第一讀會ニ於テ、一々其理由ハ辯ジテ居リマスカラ、委員長ハ唯經過ノミ御報告ヲ致シマス

○藤金作君(百二十六番) 御尋ニ附キマシテ御参考ニナルベキ書類モゴザイマスカラ、一應恒松君ノ御問ニ答ヘマスルト同時ニ、調査ノ書類ヲ一應御報告致スハ必要デアラウト存ジマス、御問ノ如ク地價修正ガゴザイマシタカラ、是マデノ地租ヨリカ其修正地租額ハ減額致シマシテ、尙ホ府縣稅町村稅ヲ賦課スルトキハ、其制限ニ超ユルハ、勢已ムヲ得ヌコトニアリマス、是ハ制限外ノ徵收ヲ認可ヲ受クレバ、差支ナイトニナツテ居リマス、内務省ノ方ニ於テモ總テガサウナリツ、アル場合デアルカラ、聊カ差支ナイト云フコトデゴザイマス、然ル所如何ナル場合ニナツテ居ルカト申シマスルト、三十一年度ノ地租割徵收額ガ府縣稅ノ部ニ於キマシテ、千二百三十二万五千五百五十八圓程徵收致シテ居リマス、修正地租額ニナリマスルト云ント、三千四百九十七万六千五百四十九圓トナツテ居マス、是ニ三十一年度ノ各府縣平均課率三十四錢四厘ヲ乘ジマスレバ、其金額ハ一千二百三万五千五百五十八圓トナル、之ヲ三十一年度及其徵收額ト比較致シマスルト、全國ニ於テ地租額ノ減タ結果トシテ二十九万三千六百二十六圓ノ減額トナリマス、又府縣會デ決議シタ其地租割徵收額スルノ結果ガ生ジマス、然レドモ此增徵地租ニ其儘府縣會ノ決議ノ地租割徵收額スル日ニナリマスルト、其總計額ガ地租ガ四千六百九千四十四圓トナツテ居マスカラ、是ヨリ生ズル徵收額ハ一千五百八十八万二千五百五十五錢二厘ヲ課スル割合ニナリマスルカラ、以前ノ地租ニ比較スルト八厘程多ク徵收スルノ結果ガ生ジマス、然レドモ此增徵地租ニ其儘府縣會ノ決議ノ地租割徵收額スル日ニナリマスルト、其總計額ガ地租ガ四千六百九千四十四圓トナツテ居マスカラ、是ヨリ生ズル徵收額ハ一千五百八十八万二千五百五十五錢二厘ヲ課スル割合ニナリマス、是ハ矢張元ノ地租ニ應ジテ全ク地價修正ノタメニ地租ノ減額ノ多キ所ハ、特別ノ認可ヲ受ケル方ガ宜シトイト云フ結果ニナツテ居リマス、又市町村ノ部ニ於キマシテハ、テ三十一年度ノ地租割額ハ八百三十四万九千七百四十圓デゴザイマス、是ガ修正地租ニ割當テルト、一圓當リガ一十一錢八厘デアリマスカラ、七百六十二万四千八百八十七圓トナリマス、サウシマスルト差引キ市町村ノ方ニ於キマシテハ、七十二万四千八百五十三圓ノ不足ヲ生ズル割合ニナリマス、此二十一錢八厘ト減額致シタ所ノ修正地租額ニ割當テマスルト、二十三錢八厘トナリマシテ、地租一圓ニ附イテ一錢ノ增徵ヲ生ズル割合ニナリマス、然レドモ尙ホ臨時五箇年ノ增徵地租ニモ其儘課シマスル日ニナルト、其徵收額ハ一千六万四千八百五十二圓トナリマスカラ、差引キ百七十一万五千百十二圓ト云フモノハ、不用ノモノヲ徵收スルコトニナリマス、尙ホ茲ニ一言述ヘタイノハ、增徵地租ニ府縣稅町村稅ヲ課セナイコトニナレバ其タメニ府縣會ヲ開イテ、又地租割徵收額ヲ改メルノ必要ガ出來ルヤウニ思フト云フ委員會デ少シ話ガアリマシタ、併ナガラ是ハドチラニ致シマシテモ、臨時會ヲヨウト開イテ、其地租割徵收額ヲ改メナケレバナラヌト云フ結果ハ生シテ居ルノデアリマス、地價修







ニ委員長ト理事ヲ選舉セラレテ、議長ノ方へ報告アランコトヲ望ミマス  
議事日程ノ第十一、關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案第一讀會、議案ノ朝  
讀ヲ省略致シマス

## 第十 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案(三田)

### 第一讀會

關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案

明治三十年法律第十四號關稅定率法中左ノ通改正ス  
附屬輸入稅表第一種第五類中「一六〇洋漆」、「一六一支那漆」、「一六二漆五、〇」ト改ム

此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(三田村甚三郎君演壇ニ登ル)

○三田村甚三郎(五十三番) 私ハ本案ノ提出者ノ一人デゴザイマシテ、聊カ  
提出ノ理由ヲ述ベタイト存シマス、此案ハ諸君ノ建議案杯トトニ多クノ建議  
案杯ト達ヒマシテ、國庫ノ收入ヲ増スコトニナリマスルシ、一方ニ於テハ我

國固有ノ物產ヲ保護スルト云フコトニナリマシテ、私共ニ於テハ甚ダ國庫窮

乏ノ此際ニ於テ、我國產ヲ保護スルノ點ニ於テ、最モ時期ニ適切ナルモノト考

ヘテ居リマスカラシテ、暫ク私共ノ陳述致スコトヲ御聽取ニナランコトヲ望

ミマスル(恵松隆慶君) ドウカ漆バカリデナク、外ノコトモサウ云フ都合ニ願

ヒマス「ト呼フ」私共ノ趣意ハ、關稅定率附屬輸入稅表ニ於キマシテ、外國漆支

那漆ニ對シテ、現今ノ規定ニ於キマシテハ、一割ノ從價稅ヲ課スルト云フコト

ニナツテ居リマスカラシテ、五割ヲ掛ケルト云フコトニ改正致シタイト云フ趣

意デゴザイマスル、如何ニシテ現在一割ノ此定率法ヲ改正致シマシテ、之ニ五

割ヲ掛ケタイト云フ精神デアルカト御問ニナリマスレバ、即チ本員ハ此歴史上

又光榮アル所ノ特有物產デアル、此日本ノ漆器ヲ保護シ、此漆器ノ材料デアル

所ノ漆液ヲ保護シテ、立派ナモノヲ持ヘヤウト云フ精神ニ外ナラヌノデゴザ

イマスル、即チ古キ歴史ト云フモノニ附キマシテハ、本邦ニ於テ漆液ハ如何ナル

時代ニ於テ應用サレ始メタト云フコトニ附キマシテ、簡短ニ申上ゲマスレバ、簡

短簡短「ト呼フ者アリ」簡短ニヤリマス(歴史杯ハ要ラナイ)ト呼フ者アリ大

化ノ以前ニ始テ、神龜天平ノ頃ニ金粉詩繪ノ發明ガアリマシテ以來、大同三年

杯ニハ既ニ漆司ナル者ヲ置カレタサウデゴザイマスル、故ニ此光

榮アル此歴史アル特有物產ナルモノハ、非常ナ名聲ヲ博スルニ至リマシテ、遂ニ今日ノ日

本ニ於キマシテハ、實ニ侮ルベカラザルモノデアル、海外ニ於テモ殆ド獨歩ス

ルト云フテ差支ナイ程ノ名產タル此漆器ニナツタノデゴザイマス、故ニ此光

シマスルト、大イニ是ガ有様ヲ異ニ致シマシテ、支那漆ノ輸入額ハ、三十年  
度ニ於キマシテハ、十万四千十六貫、此代價ガ四十六万八千圓以上ニ成ツテ  
テ我邦ノハ一万六千八百貫デ、代價ガ十六万六千ト云フヤウナコトニナツテ  
居リマス、斯様ニ支那ノ輸入段々増シテ、我邦ノ漆液ナルモノハ減ジテ往ク  
ノデゴザイマス、而シテ海外ニ向シテ輸出スル所ノ漆器ハ、ドウナラテ居ルカト  
云フコトヲ考ヘテ見マスルト、斯様ナルコトニ成ツテ居ルテゴザイマス、即

チ二十八年頃ニハ、百万圓以上日本ノ漆器ガ海外ニ輸出サレテ居ルデゴザ  
イマス、然ルニ二十年度ニナリマスルト、七十六万七千四百十六圓、斯ウ云フ

ヤウナ有様ニ成ツテ居ル、此統計ノ證明スル所ニ依リマスレバ、段々支那ノ漆  
ガ日本ヘ入込ンテ來テ、日本ノ漆ハ段々減シテ海外ニ輸出スル所ノ有様ハ、ド  
ウデアルカト云フト段々是ガ減ジテ來ルト云フ位、何故ニ海外ニ向シテ、日本

ノ漆器ノ輸出ガ減ジタ來タト云ヘバ、詰リ粗製濫造ナルモノガ起シテ、サウシ  
テ斯ル有様ニナツタ、何故ニ日本ノ漆ガ斯ク減ジタト云ヘバ、決シテ支那ヨリ  
這入ル所ノ漆ガ良クテ、日本デ出來ル所ノ漆ガ惡ルイノデハナ、唯値段ノ競  
争デアル、品物ノ競爭ナラバ、益々品物ヲ發達セシムルコトニナツテ、日本

ガ、値段ノ唯安イト云フコトニ向シテノ競争ナルモノハ、實ニ恐ルベキモノ  
デアル、支那ノ漆ガ日本ノ漆ヨリ良イカラ、這入ッテ來ルト云フノデナ、値段

ガ安イカラ多ク這入ッテ來ルノデアル、如何ニ値段ノ相違ガアルカト云フト、  
支那漆ハ一貫目四圓内外デアル、然ルニ日本ノ漆ハ六圓以上スルコトニナツテ  
居ル、斯様ニ値段ノ相違ガアリマスカラシテ、支那漆ノ輸入ガ餘計ニナツテ、

日本漆ハ少ナク成ツテ居ル、其結果トシテハ即チ支那ノ粗製濫造ナル混合物  
ナル所ノ漆ヲ用フルカラシテ、ソレヲ使シテ製造シタ所ノ漆器ハ、自然聲價ヲ

墜シテ、輸出高ガ段々減ジテ來ルコトニナリマス、斯様ナルコトヲ考ヘテ見マ

スルト、私共ハ如何ニモシテ之ヲ保護シテ遣リタイト思ヒマス、又現今ノ有様

ニ於テ實ニナクテナラナイ所ノ結構ナル所ノ漆器ハ、無クナツテ、原料ガ缺乏シ  
テ出來ナクナリマスカラ、到底日本漆ト支那漆ハ、競争スルコトガ出來ナイ

カラ、無クナリマスガ、之ヲ保護シテ日本漆ヲ多ク製造セシメルト云フコトハ、  
決シテ出來難イ仕事デハナ、實例ヲ申シマスルト、現今ノ相場ニ致シテ、

漸ク日本ノ漆ハ一本ニ附イテ漸ク一錢五厘位ノ收益シカナイ、又搔取ル一人  
ノ手間ハ、一日テ取ルノガ漸ク十七錢五厘ニナリマス、然ルニ外ニ向シテ此者

ガ勞働スレバ、三十錢乃至四十錢ノ賃銀ヲ得ラル、モノデアルニ、漆ヲ搔クタ  
メニハ漸ク十七錢五厘ト云フ職工ノ手間ニシカナリマセヌカラ、如何ニシテ

日本ノ物產ヲ維持シタイト考ヘ、勉勵シテ其職業ニ從事スルコトハ出來ナイ、今はニ  
逐ハル、彼等ハ、悲シイカラ、到底其職業ニ從事スルコトハ出來ナイ、今はニ

五割ノ稅ヲ課シテ、日本ノ漆ヲ保護シタナラバ、ドノ位ニナルト云フ計算ハ、  
概略デゴザイマセウガ、漸ク漆ヲ栽培シテ居る者モ、漸ク一人ニ附イテ十七錢、

搔取人一人平均二十五錢何ニ當リマスニ十五錢位ニ當ルト云フコトハ、甚ダ  
安イヤウデアリスガ、先ツ此位ニ持耐ヘラレルコトニナレバ、搔取人ハ他

ニ轉業スルコトモナク、栽培者モ漆ノ木ヲ倒シテ薪ニスルト云ウヤウナ馬鹿  
ナコトモ起ラズ、茲ニ初テ相當ナル保護ヲ得テ出來ルト云フコトデゴザイマ  
ス、故ニ私共ハ如何ヤウニシテモ將來ニ此日本ノ特有物產ヲ保護スルコトガ

必要ナ事デアルト考ヘマス、即チ歐米諸國ニ於キマシテハ、保護ヨリモ干渉ス  
ルト云フ位ノ程度ニ於テ、自國ノ產物ヲ各、保護スル今日ノ有様デ居リマス、  
又サウナケレバナラヌ事ト私共ハ考ヘテ居リマス、故ニ此五割以上ノ稅ヲ課

シタナラバ、先ツ其位ノコトハ出來ルテアラウト云フ私共ノ考テゴザイマス、  
又此事ニ附キマシテハ、現ニ私共ハ漸ク一割ノモノヲ五割ニシテ保護稅ヲ課

スルト云フコトヲ熱望シテ居リマシテモ、又反対ニ支那ノ漆ニ向シテ免稅シナ

講願書ヲ親シク見タコトモアルデゴザイマスガ、併ナガラ餘程敢テ請願人ノ人數ノ上デ以テ割出シテ申スノデハゴザイマセヌガ、餘程ソレニ附イテハ熟考シナケレバナラヌ事實ヲ見出スコトガアリマス、即チ請願人ナルモノヲ區別シテ見ルト、一方ノ支那漆ニ向テ海關稅ヲ免除シテ吳レト云フコトハ、大坂ノ齊藤某ト云フ人ト十一名バカリテ出テ居リマス、又支那漆ニ向テ重稅ヲ課シテ貰ヒタイント云フ請願ハ一千餘人カラ出テ居リマス(簡短)止シ給ヘト呼フ者アリ)又諸君ニ斯ウ云フコトハ、餘程面白イダラウト思イ「ト呼フ者アリ)是ヲ職業別ニシテ見ルト、十一名ノ方ハ何デアルカト云フト、大阪ノ漆商デアル、一千何百名ノハ如何ナル職業ニ從事シテ居ルカト云フト(ヨシ給ヘ)、「簡短」ナイト呼フ者アリ)斯ウ云フ事ハ請願委員長ニモ分ラヌ、是ヲ職業別ニスルト、漆器商ト云フモノガ二十六人アル、而シテ漆搔及生漆商ガ六百八十六人アル、是ガ注意セネバナラヌノデアリマスルガ、塗師及蒔繪師ト云フ者ガ、支那漆ヲ使シテ到底善イ品物ガ出来ナイト云フノデ、二千名ノ内千七人以上連印シテ出テ居ル、東京ノ美術學校デモ殆ド支那漆ハ用フルコトガ出來ナイト明言シテ居ルサウデゴザイマス、二人アル、雜業ガ二十六人、是ガ一千四十五人ノ名前ヲ以テ請願ニナシテ居ルデゴザイマス、斯様ニ多クノ尤モ唯漆ヲ商フト云フ者デナク、實際仕事ヲシテ居ル所ノ塗師及蒔繪師ト云フ者ガ、支那漆ヲ使シテ到底善イ品物ガ出来ナリマスカラシテ、此意見ニ付イテ簡単ニ述ベマシテ、サウシテ御参考ヲ煩ハシタイ、反對論者ハ如何ナルコトヲ云フカト云フト、漆園ハ桑園或ハ茶園トナシマッテ漆液ガ大ニ騰貴シタト云フコトガ、第一ノ理由ニ書イテアル、多ク東北ニ於テハ殆ド他ノ物ニ間ニ合ハナイ場所ヲ利用サレテ居ル、漆ヲ植付ケルニハ、桑或ハ茶ヲ植付ケル所トハ、場所ガ違ツテ桑茶ノ如キハ肥沃ノ地デナケレバナラヌケレドモ、漆杯ハ山間ノ或ハ萱ノ生ヘテ居ル所トカ、畑トカ、決シテ肥沃ノ土地デナクテモ、空場所デ差支ナインデス様ナ次第デゴザイマスカラ、私共ハ飽クマデモ國產保護ノ上ニ於テ、是ダケノコトヲシナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、又簡短ニ唯反對ノ意見ガアリマスカラシテ、此意見ニ付イテ簡單ニ述ベマシテ、サウシテ御参考ヲ煩デモ殆ド支那漆ハ用フルコトガ出來ナイト明言シテ居ルサウデゴザイマス、二人アル、雜業ガ二十六人、是ガ一千四十五人ノ名前ヲ以テ請願ニナシテ居ル、漆ヲ植付ケルニハ、農家ニ重要ノ品デアリマス、是ガ騰貴シタト云フノハ、這入ヲテ來ル漆ガ安イカラ、騰貴シタノデアル、支那漆モ混合物ヲ引去レバ、六ルデ、故ニ漆ハ例ヘバ五割ノ稅ヲ課シタ所ガ高クナシタ所ノ漆ヲ悉ク用ヒテ、或ル器物御盈トカ器物一箇ニ付イテ用フル漆ハ漸ク一割ニ止マル、一割以外ノモノデアル、其他少ノ騰貴ヲ受ケテ輸入ガムヅカシクナシタニシテモ、日本ノ固有ノ美術ヲ發達シ、名聲ヲ固有セシムルニ附イテハ、善イ物ヲ作ルト云フノハ、甚ダ宜シルトカ云フノテ、漆全體デ拵ヘルモノデナイ、美術デアルカラ餘程手間ノ費ヘルデ、故ニ漆ハ例ヘバ五割ノ稅ヲ課シタ所ガ高クナシタ所ノ漆ヲ悉ク用ヒテ、或ル器物御盈トカ器物一箇ニ付イテ用フル漆ハ漸ク一割ニ止マル、一割以外ノモノデアル、其他少ノ騰貴ヲ受ケテ輸入ガムヅカシクナシタニシテモ、日本ノ固有ノ美術ヲ發達シ、名聲ヲ固有セシムルニ附イテハ、善イ物ヲ作ルト云フノハ、甚ダ宜シルトデアリマス、色ニ申上ダタイガ、既ニ簡短ノ聲ヲキマスカラ、是マデニ止メテ置キマス、ドウカ通過スルヤウニ希望致シマス

**第十一 上奏案**（安部井盤根君外一名提出上奏案）

品ニ高稅ヲ課スルト云フコトハ、一ツノ考モノデ、又此案ハ隨分其過激ノ増シ方デアツチ、是レ亦一ツノ考慮ヲ要スルモノデハアルマイカト考ヘマス、現行ノ關稅定率法ハ各々權衡ヲ取テ出來テ居リマスカラ、獨リ突出シテ此ノ如キ高度ノ稅率ヲ定メルト云フコトハ、大イニ考フベキコト、思ヒマス、是ニ於テ政府ニ於テハ、今此案ニ對シテ同意ヲ表シ兼ネマス  
○恵松隆慶君（九十七番）此案ハ隨分反對ノ意見ヲ持ツタ人ガアルヤウニ思ヒマスガ、併シ反對スルト否決スルト云フコトニナル、折角御調ニナツテ三田村サンガ長ク述ベタノデ、免ニ角委員ニ付託スルコトニシテ、九名ノ特別委員ヲ議長ノ指名ニ致スコトニ……

衆議院ノ決議ニ由リ議ミ奏ス伏シテ惟ミルニ會計検査院ハ立憲制ニ於ケル  
最重要機關ノ一ニシテ國家歳出入ノ決算ハ一ニ其ノ検査確定ヲ待チ帝國議會  
ノ決算報告ヲ議スルモ亦其ノ検査ニ信ヲ置クヲ例トス然ルニ會計検査院長  
子爵渡邊昇等法文ヲ矯メテ屢々不應爲ノ事ヲ爲シ剩サヘ自己ニ抗議シタル  
安川繁成以下三名ノ検査官ヲ誣フルニ身體精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコ  
ト能ハサルヲ以テシ所部ノ官吏ヲ率ナ明治二十九年法律第九十一號ノ退官  
法ニ曲當セシメ且之ニ關係シタル前後ノ行爲ニ於テ國家カ検査官ヲ設クル  
ノ精神ニ悖レルモノ妙カラサルハ世皆之ヲ認メ今ノ會計検査院ヲ有名無實  
トスルヤ久シ是ヲ以テ衆議院ハ渡邊昇等ニ信ヲ置クコト能ハス仰キ願ハク  
陛下日月ノ聖鑑ヲ垂レサセラレ立憲制ノ最重要機關タル會計検査院ヲシテ其  
ノ信用ヲ恢復セシメ給ハムコトヲ衆議院議長臣片岡健吉誠懇惶謹テ奏ス  
〔撤回ハドウデス〕ト呼フ者アリ

〔安部井磐根君演壇ニ登ル〕

○安部井磐根君（二百一十八番）此案ハ前回ニ於テ解散ノタメニ消滅シマシ  
タ、今回再び提出シタコトデゴザイマスガ、茲ニ議會ノ許可ヲ得マシテ撤回  
シタイト存ジマス（「贊成」ト呼フ者アリ）聊カ其理由ヲ述ベマス（「簡短」ト呼  
フ者アリ）案ハ憲政ノ最重要機關ナル會計検査院ノ彼ノ違法上奏、不法決議、無

法退官處分ト云フヨリ來ツタルノデゴザイマシテ、取りモ直サズ院長渡邊昇弾居マセヌ、即チ形ノ如ク亂レニ紊レタ検查院矯正ノ實ヲ舉ガルヲ求ムルニアハ他ノ官省ト同シカラザル合議體ノ組織デコザイマシテ、検査官一個ト雖モ各々不羈獨立而モ完全ナル議權能ヲ有シテ居ルニモ拘ラズ、彼ノ院法擁護、誠意舊然、始ハ忠國、後ハ嗣教、而シテ遂ニ是ニ身ヲ倒シマシタル安川繁成君カラ四名ノ正義派ヲ除去リマシタナラバ、餘マス所ハ皆暴横極ツタル院長ニ阿諛シテ耻ヲ知ラザル腐敗漢ノ巣窟デゴザイマス、本員等ガ職責アル會計検査ノ國家會計ノ監督上既往ニ於テ信ヲ措クコトハナラヌノデゴザイマス、是レ本文ニ検査院長子爵渡邊昇等ト、等ノ一宇ニ力ヲ持タセテ、其實全院ヲ指シテアルノデゴザイマス、見ヨ既往ニ徵シテ現在ヲ看シ、彼ノ明治三十年四月十二日ニ官報ニ掲載公表シタル不法決讐ノ文ハ、取消モナク、悠遠存在シツ、アル、是ハドウスル、ソレカラ精神衰弱ニ依ツテ院務ヲ執ルニ堪ヘザル者ト曰フ欺キ人ヲ欺キ、世ヲ欺キ、尙本進シテ恐多クモ畏キ邊リヲ欺キ奉ツテ、無理無體ニ退官セシメタル所ノ安川繁成君等外四名ノ其實然ラザルコト、及而モ精神確實、身體健康、爾來間斷ナク國家ニ社會ニ盡シツ、アルコトハ、満天下之ヲ見ル、是ハドウスル、ソレカラ又暴横ナル院長ヲ助ケテ検査院ヲ瀆シニ汚シタル所ノ濱部長以下ノ検査官ドモハ恬トシテ今日ニ勤績シツ、其人ヨモヤ渡邊昇同様ノ人物デモアルマイ、果シテ然ラバ早晚本員等ヲシテ信任安意セシムルニ嘆ノ至ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、サハ申シナガラ今日渡邊昇ガ引退シテ足ベルベキ大々のナル刷新モ見ルベキモノト信ジマシテ、先づ此場合ハ遺憾千萬デハゴザイマスガ、案ヲ徹シテ他日ヲ待ツノ穩當ナルニ若カナイト思考シマシテ、議案撤回ノ許可ヲ議會即チ諸君ニ乞フ所以デゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 提出者カラ上奏案ノ撤回ヲ求メマシタガ、御異議ハア  
リマスマイカ  
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレハ撤回スルコトニ致シマス、議事日程第十二請願委員長報告

○山本幸彦君(百八十九番) 請願外一件 (委員長報告)

○山本幸彦君(百八十九番) 請願外一件 (委員長報告)

○山本幸彦君(百八十九番) 請願委員會ノ決議ノ顛末ヲ御報告致シマス、第十二ノ日程ヨリ第十五ニ至ルマデハ、皆悉ク委員會ノ報告ニ係ル分デゴザイマス故ニ便宜ニ從フテ唯今此處デ取束ネテ御報告致シテ置キマスル、此第十二日程ノ特別報告憲法ノ保護ヲ受クル請願外一件トアリマス、是ハ諸君モ御承知ノ通、足尾銅山礦毒事件ニ附イテノ請願デゴザイマス、此憲法ノ保護ヲ受クルト云、コトハ御承知ノ通被害ガ多年ニ亘テ且ツ年々歲々ニ被害ガ増ヌノデアル、詰リ人民ノ所有權ヲモ此害毒ノタメニ侵サルハノデアル、人民ノ所有權ハ憲法ニ於テモ保障ノアルコトデアル、ソレサヘ相立タスト云フヤ

(委員長報告)

人ヲ欺キ、世ヲ欺キ、尙本進ンデ恐多クモ畏キ邊リヲ欺キ奉ツテ、無理無體ニ退  
官セシメタル所ノ安川繁成君等外四名ノ其實然ラザルコト、及而モ精神確實、身體健康、爾來間斷ナク國家ニ社會ニ盡シツ、アルコトハ、満天下之ヲ見ル、是ハドウスル、ソレカラ又ノ暴横ナル院長ヲ助ケテ検査院ヲ瀆シニ汚シタル所  
ノ濱部長以下ノ検査官ドモハ恬トシテ今日ニ勤績シツ、アル、是ハドウスル、是等思ヘバ思ヘバ、實ニ此検査院ノタメニ憲政ノタメニ國家ノタメニ憤慨痛  
嘆ノ至ニ堪ヘナイ次第ゴザイマス、サハ申シナガラ、今日渡邊昇ガ引退シテ  
見マスレバ、此案ヲ此儘ニ議スベキ要モゴザイマセヌ、且ツ新院長山田信道ガ  
御任命ニナリマシテ、既ニ院務ニ就カレツ、アル以上ハ、其人ヨモヤ渡邊昇同  
様ノ人物デモアルマイ、果シテ然ラバ早晚本員等ヲシテ信任安意セシムルニ  
足ルベキ大々的ナル刷新モ見ルベキモノト信シマシテ、先づ此場合ハ遺憾千  
萬デハゴザイマスガ、案ヲ徹シテ他日ヲ待ツノ穩當ナルニ若カナイト思考シ  
マシテ、議案撤回ノ許可ヲ議會即チ諸君ニ乞フ所以デゴザイマス

法退官處分ト云フヨリ來ツタルノデゴザイマシテ、取りモ直サズ院長渡邊昇弾居マセヌ、即形ノ如ク亂レニ荼レタ検査院矯正ノ實ヲ舉ガルヲ求ムルニアルノデゴザイマス、尙ホ反言シマスレバ、院長渡邊昇ノタメニ提出シタルノデヤゴザイマセヌ、検査院ノタメニ提出シタノデゴザイマス、倍検査院ナルモノハ他ノ官省ト同シカラザル合議體ノ組織デゴザイマシテ、検査官一個ト雖モ各々不羈獨立而モ完全ナル議權能ヲ有シテ居ルニモ拘ラズ、彼ノ院法擁護、誠意舊然、始ハ忠國、後ハ嗣毅、而シテ遂ニ是ニ身ヲ倒シマシタル安川繁成君カラ四名ノ正義派ヲ除去リマシタナラバ、餘マス所ハ皆暴横極シタル院長ニ阿諛シテ耻ヲ知ラザル腐敗漢ノ巣窟デゴザイマス、本冒等ガ職責アル會計検査ノ國家會計ノ監督上既往ニ於テ信ヲ措クコトハナラヌノデゴザイマス、是レ本文ニ検査院長子爵渡邊昇等ト、等ノ一字ニ力ヲ持タセテ、其實全院ヲ指シテアルノデゴザイマス、見ヨ既往ニ徵シテ現在ヲ看ヨ、彼ノ明治三十年四月十二日ニ官報ニ掲載公表シタル不法決議ノ文ハ、取消モナク、悠遠存在シツ、アル、是ハドウスル、ツレカラ精神衰弱ニ衣ツテ完務ヲ就ルニ甚ヘザル者トコロ歎キ、

ウナ今日デアルタメニ、ドウカ憲法ノ保護ノ實ノ舉ルヤウニ處分ヲ願ヒタイト云フ、大體ハ精神デアルノデゴザイマス、尤モ請願書ニ言フ所ノモノハ多々アリマスルケレドモ、要スルニソレデゴザイマス、ソレカラ外一件トアリマスルノハ、斯ウ云フ請願デアリマス、鑽毒被害町村自治體破壊ニ附キ救治ノ請願、是デゴザイマスガ、是モ大體ハ前ノ請願ト其意味ハ同シデゴザイマスルガ故ニ、日程ニ同一ニ掲ゲテアルノデゴザイマス、追々被害ガ多クナッテ、逐ニ一部落一村ノ荒蕪地ニナルモノガ益々多クナル、從テ公民權ヲ有シテ居ル者ガ、誠ニ少クナル、遂ニ自治體モ立タヌト云フヤウナ想ガアルカラ、之ガ教治ノ途ヲ願ヒタイト云フ請願デアルノデゴザイマス、請願委員會ハ之ニ對シテ此事件ハ永年ノ間ノ事件デモアリ、誠ニ彼ノ地方ノ治安ニモ關係モアルコトデアルカラ、政府ハ早ク相當ナ處分ヲ致シタルヲバ、宜シカラウト云フノガ、請願委員會ノ大體ノ精神アリヲ院議ニ付スルコトニ相成シタノデアリマス、クレカラ其次ニ民法中修正ノ請願、是ハ彼ノ失火者ノ失火ノ責任ニ對スル請ダ當然ノ請願ト認メテ其通ニ院議ニ付スルコトニ決議致シタノデゴザイマス、ソレカラ此宮津港ヲ以テ商港ト爲スノ請願、此請願ノ要旨ハ、追々露西亞ノニ日本海ニハ相當ノ港灣ガ少ナニ、即チ宮津港ハ大陸ノ要所ニ當シテ居ル港西伯利亞鐵道が竣工スル、數年ナラズシテ竣工スル、サウシタ曉ニ、歐米ト極東ノ交通ニハ非常ナ激變ヲ與ヘルデアラウ、從テ貿易上ニモ餘程變化ヲ與ヘルデアラウ、デ我國ハ其變化ニ對スル豫メ備ヲ爲サンケレハナラヌ、然ル付スルコトニ決定致シマシタ、ソレカラ其次ハ支那漆輸入關稅免除ノ請願、是ハ先刻此法律案ヲ提出ニナラレテ、三田村君カラ牒々述べラレタ、即チ其台灣デアルタメニ、他日ノ備ヲ爲シタメニ、此港ヲ以テ商港ト爲シタイト云フ、國家ノタメニ其コトニ致シタイト云フ精神デ、此請願ヲ出シテ居ルノデゴザイマス、是モ請願委員會ハ相當ノ請願ト認メマシタ故ニ、院議ニ付スルコトニ決定致シマシタ、ソレカラ其次ハ支那漆輸入關稅免除ノ請願、是ハ先刻此法律案ヲ提出ニナラレテ、三田村君カラ牒々述べラレタ、即チ其反對ニ立ツ所ノ請願デアリマス、請願人ノ云フ所即チ請願書ニ書イテアル所ノモノハ、支那漆ト云フモノハ、二十二年頃ヨリ輸入ヲ致シテ居ル、然ルニ今日ノ漆ヲ使用スル所ニ於テ、日本產ノ漆ハ、洵ニ少クナッテ、詰リ十七八分マデハ、支那ノ輸入漆ヲ使シテ居ルノデアル、サウシテ内外國ノ需要ニ應ズルモノヲ漸々輸入漆ノタメニ支ヘテ居ルノデアル、又漆器ノ輸出若クハ漆ヲ用ヒテ出來上ッタ所ノ品物ノ輸出等モ、追々海外ニ販路モ擴マクテ居ルコトデアル、若シ此漆ノ輸入ニ對シテ大イナル稅ヲ掛ケタ場合ニハ、此輸入漆ノ高クナルタメニ用フルコトガ出來ナイト云フ結果ニナル、サウシテ見レバ十中七八分マデ輸入漆デ間ニ合セテ居ル、漆器ノ製造ガ減ズルタメニ輸出ガ減ズル、折角ノ花客モ失フ、日本ノ特有ノ美術トシテ輸出シタモノハ、何分將來發達モセシメタイ、且ツ保護モ致シタイカラ、支那漆ニハ稅ヲ掛ケナイヤウニシテ貰ヒタイト云フ、即チ先刻ノ法律案トハ、全クノ反對ノ精神デ、請願ヲシテ來タノデアリマス、請願委員會ハ正當ノ請願デアルト認メマシタカラ、院議ニ付スルコトニ決シマシタ、是ガ委員會ノ大略デゴザイマスシテゴザイマスガ、委員長カラ其後御報告ガ今日マデゴザイマセナンダヤウニ思ヒマスカラ、今併テ伺ヒマスガ、第三十七號ノ中陽曆創設ノ件、德島縣平

